

MISA SHIN GALLERY

1-2-7 Shirokane, Minato-ku, Tokyo 108-0072 JAPAN
tel:+81-(0)3-6450-2334 fax:+81-(0)3-6450-2335
www.misashin.com info@misashin.com

プレスリリース
2017年1月

伊庭靖子 IBA Yasuko
Paintings

会期：2017年1月21日（土） - 3月18日（土）

オープニングレセプション：2017年1月21日（土）18:00-20:00

開廊時間：火曜-土曜（日月祝日休）12:00-19:00



伊庭靖子 *Untitled 2016-03*, Oil on canvas, 91x117cm

MISA SHIN GALLERY は、1月21日（土）から3月18日（土）まで、伊庭靖子の新作による個展「Paintings」を開催いたします。

伊庭靖子は、クッションや陶器など身近な素材を題材に、その質感や空気感などを絵画上に引き出し、観るものの感覚にうったえる作品で知られるアーティストです。1967年京都生まれ、画家として1990年代前半から活動を始めた伊庭は、一貫して対象物を写真で撮影し、その写真をもとに絵を描くという手法で制作してきました。

MISA SHIN GALLERY

1-2-7 Shirokane, Minato-ku, Tokyo 108-0072 JAPAN
tel:+81-(0)3-6450-2334 fax:+81-(0)3-6450-2335
www.misashin.com info@misashin.com

今回の新作は、これまでの、モチーフをそのまま描く方法から、新たな視覚的プロセスを経ることで、周りの空気や光と同じようにその質感を鑑賞者に届けようとする試みです。

伊庭はまず、アクリルボックスに描く対象となる花器や器を入れ、オブジェクトの持つ魅力を引き出す空間を作ることから始めました。アクリルの表面には周りの景色や反射する光が映り込み、器を素直に見せることを妨げ、モチーフの肌触りは、周囲の風景や環境と互いに呼応しながら引き出されます。観るものの眼差しは、映り込む景色や光を通過し、柔らかな空気と一体になった風景へ、そしてその中に存在する器へとたどり着くのです。

アクリルボックスが介在することで、日常的なオブジェクトのイメージは、光、色彩、かたちなどに解きほぐされ、鑑賞者は観るという行為のなかで、手触りや記憶までもが呼び起こされます。物や質に宿るわずかな差異、あるいは感覚を探り、手触りや触覚という見えないものの視覚化を、伊庭はひとつの風景のなかで表現します。

MISA SHIN GALLERYでは2度目の個展となる、伊庭靖子の「Paintings」にどうぞご期待ください。

伊庭靖子

1967年京都市生まれ。嵯峨美術短期大学版画科専攻科修了。1999年、フランス・モンフランカン（ダイムラークライスラーグループ アート・スコープ）、2001-2002年、ニューヨーク（文化庁在外研修員）にて滞在制作。主な個展に「まばゆさの在処」神奈川県立近代美術館鎌倉館（2009年）、国立新美術館、府中市美術館、横須賀美術館、平塚市美術館など多数の展覧会に参加。神奈川県立近代美術館、資生堂アートハウス、東京都現代美術館をはじめ、The Cleveland Museum of Art（米国）など国外も含め多くのパブリックコレクションに所蔵されている。

お問い合わせ：info@misashin.com tel: 03-6450-2334